

（授業の終わった教室で○○が帰りの準備をしていると、侑奈が声をかけてきて）

「あのさ、今日の放課後、時間ある？」

「そっか、よかつた。じゃあちょっと教室残って。で、広報委員の資料作成手伝って」「なんで、って。暇なんでしょう？」

「ほら、やっぱり暇じやん。なら手伝って」

「なんで俺なんだ、って別にいいじやん。理由なんかないわよ」

（徐々に小さくなり）

「強いて言うなら…席が近かつたから。それと…私に、お仕置、してくれるから…」

（囁くように）

「あなたなら、分かるわよね…? なにをすればいいのか…」

「今日も、色んな人に見られながらされるお仕置…楽しみにしてるわね…ふふ…」